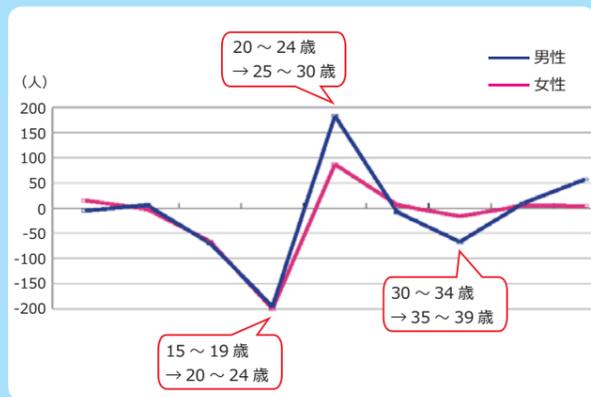


若者が戻ってこない!

右のグラフは、国勢調査から明らかになった、矢板市の年齢別人口移動数を表したものです。

10代後半の年齢層では、大学進学などを契機に市外へ転出する傾向が強く、卒業を迎える20代前半で若干の戻りがあるものの、若年層の人口移動は転出超過の傾向にあることがわかります。市では、平成28年1月に策定した「矢板市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、「来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる」という基本目標を掲げました。人口減少に歯止めをかけるためには、交流人口・定住人口・戻り人口を増やす一方で、流出人口を抑えることが重要になってきます。

今回は、進学などを契機に矢板から転出した若者を矢板に呼び戻すきっかけづくりとして行った就業支援事業のほか、関係機関が連携して創業したい方を支援する取り組み、空き店舗に活用を促し、市街地の活性化に結び付ける取り組みについて、ご紹介します。



【グラフのみかた】 2005・2010年国勢調査より算出

2005年から2010年の5年間で、転出入などにより、5歳ごとに区分した人口がどのように増減したかを表したグラフです。(例：2005年時点で15～19歳の区分に属している人が、2010年時点で約200人の転出超過になっていることがわかります。)

「就職するなら「矢板」という選択肢をつくる

就職活動中の学生や既卒者、就職活動に関心のある学生とその保護者を対象に、市内企業の紹介と就職サポートを実施しました。これは「矢板市の企業の魅力」をPRし、就職希望者とその保護者に市内就業という選択

肢を生み出し、Uターンを促進することで、市内生産人口の増加と雇用状況の改善を図ることを目的としたものです。昨年度、市で実施した3つの取り組みについてご紹介します。

矢板には魅力ある企業がたくさんある!

【子どもの就職応援団 矢板企業研究セミナー】

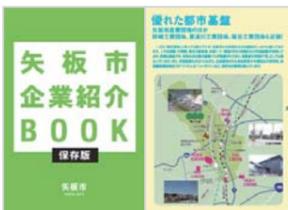
昨年12月に、就職活動に対して大きな関心を寄せる大学生などの保護者に「矢板市の企業の魅力」をPRすることを目的に開催しました。



参加した方からは「住みやすいまち・働きやすいまち「矢板市」の魅力が改めて発見することができた」と、高い評価をいただきました。

【矢板市企業紹介BOOK】

市内34社の概要や業務内容などが掲載されています。実際に働いている担当者の声も載せているので、企業の雰囲気や魅力が伝わってくる一冊です。



手にした方からは「矢板にもたくさんすてきな会社があることがよくわかる!」と感想をいただくほどです。

【やいたUターン意見交換会】

今年2月に、矢板および周辺地域から首都圏に進学している学生を対象に、Uターンを促進するために行政や企業としてどのような支援が求められているかを探り、今後の採用活動や支援制度の参考にすることを目的に、学生と率直な意見交換を行いました。

学生からは「矢板の自然や企業の魅力を知り、地元で就職することについて改めて考えるきっかけになった」などの感想があり、交換会を通して意識の変化が見られたようでした。



「起業するなら「矢板」という選択肢をつくる

やりたいを創業につなげる

【創業塾 in やいた】

平成25年度から市商工会主催で起業・創業に特化した創業を支援する事業を行っています。

創業塾では、創業を志す方が創業の心構えからビジネスプランの作成、資金繰り、申告などの手続きまで、創業に必要な幅広い知識を学び、受講後は選抜で店舗運営の機会を得ることができます。

また、受講者には、商工会を主体に矢板市、(公財)栃木県産業振興センター、日本政策金融公庫宇都宮支店、市内の金融機関2行・1金庫・1組合、栃木県行政書士会が連携した「矢板市創業応援志隊」が、創業時の相談から創業後までをサポートする体制を整えています。平成26年5月には、矢板駅東口にオープンした「街なかにながわい館(ココマチ)」で、創業塾第1期卒業生の4人が起業の夢を果たしています。

年度	創業塾卒業生	起業した人	主な業種
H25	19人	8人	飲食業、福祉業
H26	8人	1人	飲食業
H27	10人	2人	サービス業
H28	16人	7人	飲食業、サービス業



まちなかでの開業を支援します

【空き店舗等対策事業支援補助金】

中心市街地活性化のため、右の図のエリア内で、空き店舗、空地、空き家を活用してチャレンジショップなどを開業する場合に、改装費用の一部を補助する制度です。商店街のにぎわいと地域経済の活性化を図り、市のイメージアップおよび市街地の防災防犯に資することを目的としています。



対象者/中小企業者、個人事業主、商工会など
 補助率/対象経費の2分の1
 限度額/100万円
 問い合わせ/商工観光課 ☎(43)6211

この補助金を活用し、開業した3店舗をご紹介します!

【お食事処 かくれん坊 真】

創業塾を卒業し、昨年10月に開店。お客さんが、ゆっくりくつろげる空間を意識して店内を改装。野菜を多く取り入れた健康志向の創作料理が特徴で、ランチタイムには惣菜数種類を盛り合わせた「おばんざい」を、夜は酒処として一品料理などを提供している。

ところ/扇町2-2-1 三星マンション2F
 営業時間/11時～14時、17時～21時
 (※金、土は24時まで)
 定休日/日曜日・月曜日
 問い合わせ/☎(46)5270

【地域の交流拠点「みんなの広場」】

ヤマモト美容室2階の空きスペースを活用し、地域の交流拠点として、「みんなの広場」をオープンさせた。多目的ホールは、社交ダンスなどで普段から利用されている。今後、NPO法人格を取得し、放課後や休日に子どもたちが安全に生活、学習できる拠点としても活用予定。

ところ/扇町1-12-17
 営業時間/10時～15時(一般利用)
 15時～(学習支援等)
 定休日/不定休
 問い合わせ/☎(44)1833

【カラオケを楽しむ玉響空間「ござれや」】

もともと旅館だった建物を飲食店にリノベーションした。オーナーは、壁紙や床の張り替えなど、できることは自ら行う行動派。オーナーの温かい人柄とアットホームな雰囲気の中で、ゆっくりとお酒やカラオケを楽しむことができる。

ところ/扇町1-11-30
 営業時間/19時～23時
 *カラオケのみ10時から利用可 ※要予約
 定休日/不定休
 問い合わせ/☎(43)0467